

出題 蜚雪ゼミナール

長良北校・築樋拓真



国語を様々な側面からみて、日本語の面白さや深さを知ってもらえればと思います。

## 問題【国語】

次のことわざ、慣用句の意味を答えましょう。

- (1) 山を掛ける
- (2) 天王山
- (3) 他山の石

## 豆知識 雑学コラム

### 「山」の入った言葉

今月八日は「山の日」でした。そこで、今回は山の字が入っている言葉についてみていきましょう。

まず、最初は「山を掛ける」です。意味は「的中することを期待して物事をすすめること」ですね。これはもともと、金山や銀山を探していた人が、「この山なら

金や銀が出てきそう」とある山に一攫千金を掛けて、山を掘ったことに由来します。つまり、「山を掛ける」の山とは、

金山や銀山のことだったのでですね。同じように、山を掛けたところが出た意味の「山が当たる」も同じく金山や銀山を由来として生まれた言葉です。

次の「天王山」は、「勝負の分かれ目となる大きな出来事」を指す言葉ですね。この由来は、本能寺の変のあと、羽柴秀吉が明智光秀に勝利して、天下を統一するきっかけとなった合戦を「天王山」のふもとで行ったからですね。同じように「勝負の分かれ目となる大きな出来事」として「関ヶ原」も有名ですね。この「天王山」がある京都府大山崎町と「関ヶ原」のある岐阜県関ヶ原町は、「天下分け目の戦い」が行われた町として、過去にはどちらが天下分け目にふさわしいかの投票をするなど、コラボレーションした企画もおこなっていました。

逆の意味の「他人のすばらしい言動を、自分の人格を育てることに活かす」で覚えておく人も多いようです。注意して覚えましょう。

最後の「他山の石」は「他人の誤った言動を、自分の人格を育てることに活かす」という意味の言葉です。これは中国の故事の中の「他の山の役に立たない石でも、自分の宝石を磨くのに役立つ」と

いう話のもとになっています。現在では、文の場合、作品の舞台となった京都の山、特に「比叡山」を指すことが多いです。みなさんにとって、「山」から連想する山は何でしょうか？

## 【解答】

① 山を掛ける(1) 天王山(2) 他山の石(3)

車中

② 山を掛ける(1) 天王山(2) 他山の石(3)

車中

③ 他山の石(3) 天王山(2) 山を掛ける(1)